

第二回 CUC 地域連携フォーラム

「3.11 東日本大震災からの教訓」

—災害における地域と大学との関係について—

開催日時；平成24年2月18日（土） 13：00～16：00

会 場；千葉商科大学 本館7階大会議室

【プログラム】

13:00/開会（15分）

・主催者挨拶 地域連携・ネットワークセンター長 瀧上信光

13:15/基調講演（45分）

「放射能汚染について考える」 政策情報学部教授 鮎川ゆりか

講師 Profile；ハーバード大学院環境公共政策学修士修了。WWF（世界自然保護基金）ジャパン、気候変動プログラム・シニアオフィサー、グループ長。現在、千葉商科大学政策情報学部教授。著書に『脱炭素社会と排出量取引—国内排出量取引を中心としたポリシー・ミックス提案』（諸富徹と編著、日本評論社）他多数。

休憩/14:00～14:10（10分間）

14:10/パネラー（6名）の活動紹介と意見交換・ディスカッション

コーディネーター 瀧上信光センター長

(1)市川市の災害対策/14:10～14:30

（3.11を踏まえた市川市の防災対策、帰宅難民の対応、大学への期待など）

・市川市役所 危機管理監 本島 彰

(2)大学の災害対策・取組み紹介/14:30～14:40

（避難訓練の実施、災害時備蓄物、井戸の設置など）

・瀧上信光センター長

(3)「災害リスクマネジメント論」講座と市民の防災意識/14:40～14:50

・千葉商科大学非常勤講師 （「災害リスクマネジメント論」担当）仲間妙子

(4)市民、学生活動の事例紹介/14:50～15:05

①東北被災地の現況と支援活動

・NPO協会グローバルリレーションズ 事務局長 阿部弘之

②東北被災地ボランティア活動

・岩手県釜石市出身 商経学部4年 菅原 裕

・宮城県南三陸町で継続した支援活動を実施 政策情報学部3年 松浦太貴

(5)意見交換・パネルディスカッション/15:05～15:30

15:30/フロアとの質疑応答 ※基調講演・鮎川講師への質疑を含む。

15:45/まとめと閉会挨拶 瀧上センター長

16:00 終了